

事務事業コード	764117	事務事業名	街なみ環境整備事業(牧園・高千穂地区)	担当部	牧園総合支所
				担当課	建設課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	建設グループ
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	76-1111
基本事業名	5	景観の保全と整備		内線番号	5522
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 8 年度 ~ 平成 25 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	霧島市牧園町まちづくり要綱
	目	1	都市計画総務費		
コード	764117				
関連計画	高千穂地区街なみ環境整備事業整備方針、高千穂地区街なみ環境整備事業 事業計画				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
鹿児島県の「霧島国際芸術の森」基本構想に基づく、高千穂地区の国道223号道路拡幅改良事業の着手をきっかけに、歴史的建造物の適正な管理や活用、公共施設の整備、住宅の修景整備等を行い、地域の特性を活かした魅力ある街なみ整備を行う。	事業を行うに当たり、地元説明会を開催。地元からの要望は、整備後の維持管理について地元負担の軽減を強く要望されている。	特になし。

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 牧園町高千穂地区	良好な街なみが形成される	歴史的な景観や自然景観が守られる
イ		地域にあった景観が創られる

全体計画 (H8 ~ H25)	平成21年度までの実施状況	平成22年度実績	平成23年度計画
<ul style="list-style-type: none"> 丸尾地区ポケットパーク整備 2ヶ所 約1,100㎡ 屋外消火栓設置 4箇所 通路整備 丸尾地区 約100m 街路灯整備 166基 道路美装化 市道2路線約1,080m ごみ置き場 3箇所 足湯 2箇所 住宅等修景 30戸 	事業計画の策定 事業計画の見直し ポケットパーク整備 街路灯の設置	ポケットパーク整備 外灯整備 通路整備 屋外消火栓	道路美装化 屋外消火栓 通路整備 ごみ置き場整備 住宅等修景整備助成
平成24年度計画	平成25年度計画	平成26年度計画	平成27年度以降計画
街路灯整備 道路美装化 ごみ置き場整備 住宅等修景整備助成 足湯	街路灯整備 住宅等修景整備助成 足湯		

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H8 ~ H25)			
	単独	補助	合計
国		149,873	149,873
県			
地方債			
辺地債			
過疎債			
合併特例債			
その他			
一般財源	184,852		184,852
計	184,852	149,873	334,725

	H 22年度 決算 (A)	H 23年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	17,741	15,542	▲ 2,199	12% 減
補正予算額	14,506		---	---
予算合計	32,247	15,542	▲ 16,705	52% 減
国庫補助金	15,710	7,281	▲ 8,429	54% 減
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	16,532	8,261	▲ 8,271	50% 減
支出合計	32,242	15,542	▲ 16,700	52% 減

単位:千円

事務事業 コード	764117	事務 事業名	街なみ環境整備事業(牧園・高千穂地区)	担当部	牧園総合支所
				担当課	建設課

区 分	全体計画 (H 8 ~ H 25)			平成21年度までの 実施状況			平成22年度 (実績)			平成23年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	・丸尾地区ポケットパーク整備 2ヶ所 約1,100㎡ ・屋外消火栓設置 4箇所 ・通路整備 丸尾地区 約100m ・街路灯整備 166基 ・道路美装化 市道2路線約1,080m ・ごみ置き場 3箇所 ・足湯 2箇所 ・住宅等修景 30戸			事業計画の策定 事業計画の見直し ポケットパーク整備 街路灯の設置			ポケットパーク整備 外灯整備 通路整備 屋外消火栓			道路美装化 屋外消火栓 通路整備 ゴミ置き場整備 住宅等修景整備助成			
1 報 酬													
2 給 料													
3 職員手当等													
4 共 済 費													
7 賃 金													
8 報 償 費													
9 旅 費	6	6	12	6	6	12							
10 交 際 費													
11 需 用 費	513	125	638	127	125	252	386		386				
消耗品費	336	97	433	98	97	195	238		238				
燃 料 費	177	28	205	29	28	57	148		148				
食 料 費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役 務 費	355		355							355		355	
通信運搬費													
広 告 料													
手 数 料	355		355							355		355	
保 険 料													
13 委 託 料	10,526	8,914	19,440	7,894	6,281	14,175	1,732	1,733	3,465	900	900	1,800	
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	135,442	120,703	256,145	93,882	79,145	173,027	13,979	13,977	27,956	3,081	3,081	6,162	
16 原 材 料 費													
17 公有財産購入費	125		125							125		125	
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金	36,977	20,125	57,102				27		27	3,300	3,300	6,600	
20 扶 助 費													
21 貸 付 金													
22 補償補填及び賠償金	908		908				408		408	500		500	
23 償還金・利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積 立 金													
26 寄 附 金													
27 公 課 費													
28 繰 出 金													
計	184,852	149,873	334,725	101,909	85,557	187,466	16,532	15,710	32,242	8,261	7,281	15,542	
財源内訳	国		149,873	149,873		85,557	85,557		15,710	15,710		7,281	7,281
	県												
	地方債												
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債												
	その他												
一般財源	184,852		184,852	101,909		101,909	16,532		16,532	8,261		8,261	
計	184,852	149,873	334,725	101,909	85,557	187,466	16,532	15,710	32,242	8,261	7,281	15,542	
補助率	国	—		—		—		1/2		1/2		—	
	県	—		—		—		—		—		—	
補助基本額	—		—		—		31,420		14,562		—		

平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	17,741	第1回		第4回		第7回	
補正予算	14,506	第2回 (7月)	14,070	第5回		流用	436
合 計	32,247	第3回		第6回			

単位:千円

事務事業 コード	764117	事務 事業名	街なみ環境整備事業(牧園・高千穂地区)	担当部	牧園総合支所
				担当課	建設課

区 分	平成24年度 (計画)			平成25年度 (計画)			平成26年度 (計画)			平成27年度以降 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	街路灯整備 道路美装化 ゴミ置き場整備 住宅等修景整備助成 足湯			街路灯整備 住宅等修景整備助成 足湯									
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費													
消耗品費													
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料													
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	12,250	12,250	24,500	12,250	12,250	24,500							
16 原材料費													
17 公有財産購入費													
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金	13,460	6,730	20,190	20,190	10,095	30,285							
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金													
23 償還金・利子・割引料													
24 投資及びひ出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	25,710	18,980	44,690	32,440	22,345	54,785							
財源内訳	国		18,980	18,980		22,345	22,345						
	県												
	地方債												
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債												
	その他												
一般財源	25,710		25,710	32,440		32,440							
計	25,710	18,980	44,690	32,440	22,345	54,785							
補助率	国	1/2			1/2								
	県	-			-								
補助基本額	37,960			44,690									

事務事業コード	764117	事務事業名	街なみ環境整備事業(牧園・高千穂地区)	担当部	牧園総合支所
				担当課	建設課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業を推進することにより、良好な街なみが形成され、地域にあった景観を保全できる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域住民と観光客の安全性や、地域の景観の確保等に繋がるため、公共の関与が妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	整備計画に基づき順調に進んでいる。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	良好な景観形成や地域の安全性確保に支障がある。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	仕様・工法等の見直しを随時行っており削減の余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	地域住民や関係者との協議等の主要な事業は正規職員が行う必要があり嘱託職員や委託はできないため、人件費の削減はできない。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	整備区域を設定し、住環境の整備を主に行う事業であることから受益者へ負担を求めることはできないが、整備後の施設維持管理は地域にお願いしている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	丸尾地区の既存の未利用地を有効活用し小公園として整備した結果、用地費の削減を行うことができた。また、小公園と公共駐車場を結ぶ通路の整備により、丸尾地区を訪れた観光客が回遊・散策できる環境が整った。 次年度においても、コスト削減に努めながら、計画的に整備を進めていく。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	H23年度 屋外消火栓 2箇所 ゴミ置き場 1箇所 道路美装化 L=50m 通路整備 L=50m 住宅修景助成 10戸

事務事業コード	764119	事務事業名	妙見防災人道橋補修等事業	担当部	牧園総合支所
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		担当課	建設課
施策名	1	生活基盤の充実		グループ	建設グループ
基本事業名	5	景観の保全と整備		電話番号	76-1111
				内線番号	5522
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 23 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	特になし
	目	1	都市計画総務費		
コード	764119				
関連計画					

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
平成9年度に妙見地区の避難路と妙見温泉街の観光拠点施設として妙見防災人道橋が建設されたが、平成18年度に9年を経過し橋が木製のため腐朽菌の増殖やシロアリの被害が出始め、災害時の避難路の確保のため補修を必要としたことから、一部床板等の取替補修工事を行った。平成19年度は、周辺環境調査を実施した。今後は、橋の改修方法や環境対策についての検討を行い、併せて、緊急時の左岸側避難道路(取付道路)の整備を進める。	地域住民からは早急な橋補修と左岸側避難道路(取付道路)の要望がある。	平成20年12月議会で、「橋の建設後10年が経過し、腐食が進んでいるが、危険は無いか」との質問があった。

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 地域住民及び観光客	安心で快適に利用してもらう	歴史的な景観や自然景観が守られる
イ		地域にあった景観が創られる

全体計画 (H18 ~ H23)	平成21年度までの実施状況	平成22年度実績	平成23年度計画
人道橋維持補修一式	<ul style="list-style-type: none"> 護岸部床板貼り替え 26枚 シロアリ駆除 一式 河川湯源調査業務委託 一式 河川湯源河床部撮影業務委託 一式 両護岸床板貼り替え工事 157枚 河川湯源復旧工事 一式 (但し、上記工事の予算額7,000千円全額をH22～繰越)7,000千円 人道橋改修設計委託 一式 (但し、上記委託の予算額5,181千円) 	<ul style="list-style-type: none"> 人道橋分筆測量設計 一式 河川湯源復旧工事实施設計 一式 河川湯源復旧工事 一式4,950千円 人道橋改修設計委託 一式4,725千円 人道橋左岸デッキ改修工事 一式37,000千円 犬飼滝線地質調査試験費 829,500円 犬飼滝線用地取得 6筆 814,969円 	<ul style="list-style-type: none"> 人道橋改修工事監理業務委託 一式 人道橋改修工事 一式 市道犬飼滝線局部改良工事 一式
平成24年度計画	平成25年度計画	平成26年度計画	平成27年度以降計画

(2) 事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H18 ~ H23)			
	単独	補助	合計
国			
県		37,000	37,000
地方債			
辺地債			
過疎債			
合併特例債			
その他			
一般財源	86,543		86,543
計	86,543	37,000	123,543

	H22年度 決算(A)	H23年度 計画(B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	19,481	56,900	37,419	192% 増
補正予算額	37,516		---	---
予算合計	56,997	56,900	▲ 97	0% 減
国庫補助金				
県支出金	18,500	18,500		
地方債				
その他				
一般財源	31,961	38,400	6,439	20% 増
支出合計	50,461	56,900	6,439	13% 増

単位:千円

事務事業コード	764119	事務事業名	妙見防災人道橋補修等事業	担当部	牧園総合支所
				担当課	建設課

区分	全体計画 (H 18 ~ H 23)			平成21年度までの 実施状況			平成22年度 (実績)			平成23年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	人道橋維持補修一式			<ul style="list-style-type: none"> ・護岸部床板貼り替え 26枚 ・シロアリ駆除 一式 ・河川湯源調査業務委託 一式 ・河川湯源河床部撮影業務委託 一式 ・両運床板貼り替え工事 157枚 ・河川湯源復旧工事 一式 (但し、上記工事の予算額7,000千円全額をH22～繰越)7,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・人道橋改修設計委託 一式 (但し、上記委託の予算額5,181千円全額をH22～繰越)5,181千円			<ul style="list-style-type: none"> ・人道橋分筆測量設計 一式 ・河川湯源復旧工事実施設計 一式 ・河川湯源復旧工事 一式4,950千円 ・人道橋改修設計委託 一式4,725千円 ・人道橋左岸デッキ改修工事 一式 37,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・大飼滝線地質調査試験費 829,500円 ・大飼滝線用地取得 6筆 814,969円 ・大飼滝線用地補償 立木補償一式 213,500円 			<ul style="list-style-type: none"> ・人道橋改修工事監理業務委託 一式 ・人道橋改修工事 一式 ・市道大飼滝線局部改良工事 一式 			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費	5		5				5		5				
10 交際費													
11 需用費	189		189	189		189							
消耗品費													
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料	189		189	189		189							
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料	15,498		15,498	6,896		6,896	7,702		7,702	900		900	
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	68,822	37,000	105,822	9,097		9,097	23,225	18,500	41,725	36,500	18,500	55,000	
16 原材料費													
17 公有財産購入費	815		815				815		815				
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金	1,214		1,214				214		214	1,000		1,000	
23 償還金利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	86,543	37,000	123,543	16,182		16,182	31,961	18,500	50,461	38,400	18,500	56,900	
財源内訳	国												
	県		37,000	37,000					18,500	18,500		18,500	
	地方債												
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債												
	その他												
一般財源	86,543		86,543	16,182		16,182	31,961		31,961	38,400		38,400	
計	86,543	37,000	123,543	16,182		16,182	31,961	18,500	50,461	38,400	18,500	56,900	
補助率	国	—			—			—			—		
	県	—			—			1/2			1/2		
補助基本額	—			—			37,000			37,000			

平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	19,481
補正予算	37,516
合計	56,997

第1回		第4回	
第2回		第5回	
第3回		第6回 (10月)	38,300

第7回			
流用			(784)

事務事業コード	764119	事務事業名	妙見防災人道橋補修等事業	担当部	牧園総合支所
				担当課	建設課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	橋梁を維持補修等することで、地域住民や宿泊客等に安心して快適に利用してもらい、地域にあった景観を保全できる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本橋梁は、景観に配慮した橋であるほか、災害時の緊急避難経路の橋でもある。このような理由から市が関与することは妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	河川湯源の復旧等計画通り進行している。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	廃止・休止した場合、橋梁を維持保全出来なくなり、劣化・落橋が予想され、地域住民や観光客に多大な影響がある。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	既存の工作物を可能な限り利用する計画であり、削減の余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業実施にあたり、地域住民や関係者との協議等が必要であり、正規職員が行う必要がある。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本橋梁は、景観に配慮した地域住民の生活路であり、災害時の緊急避難経路の役割も兼ねていることから、公共性が高く受益者に負担を強いることは不適切である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	人道橋は架橋から13年が経過し、橋の劣化が著しく歩行者の安全確保が急務となっていることから一部改修を行った。引き続き残りの改修を行う予定である。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	H23年度 人道橋右岸デッキ及び本橋補修工事 一式 L=55.15m 同工事監理業務委託 一式 市道犬飼線局部改良工事 L=50m 同工事に伴う温泉管等移設補償 一式

事務事業コード	764316	事務事業名	コミュニティ広場整備事業	担当部	建設部
				担当課	都市整備課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	公園グループ
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	7	公園・広場等の整備		内線番号	2891
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 23 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	都市公園法 国分緑の基本計画
	目	4	公園費		
コード	764316				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
都市化が進む本市に於いては、健康で潤いのある生活空間となる公園の整備が必要である。特に、地域住民からは、交流・ふれあいの場として身近に利用できる公園の整備が求められている。そうしたなか、都市の緑の保全と創出に関する施策をより計画的に推進できるように、国分地区では平成14年度に『緑の基本計画』を策定している。その中では、都市公園の規模種別を勘案し、面積の大きい公園から身近に利用できる小規模な公園まで、均衡の取れた配置計画を行っている。この事業は、地区住民が日常的に利用出来る小規模な街区公園の整備を計画的に行うものである。平成7年度から平成16年度までに9箇所のコミュニティ広場を整備しており、平成20年度から新たに2箇所のコミュニティ広場を整備するものである。	『緑の基本計画』に、コミュニティ広場(街区公園)の整備が計画されている地域から、早期着手に向けての地区要望や意見が寄せられている。	議会からも、早期着手に向けての地区要望や意見が寄せられている。

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 市民	日常のコミュニケーションや休息、スポーツレクリエーション、ふれあいの場、災害時の避難地として利用してもらう	ゆとりややすらぐ場が確保される
イ 公園	公園面積が増える	ゆとりややすらぐ場が確保される

全体計画 (H22 ~ H23)	平成21年度までの実施状況	平成22年度実績	平成23年度計画
○広場整備 ・広場整備工事 ・便所、休憩所設置工事	「但し、コミュニティ広場整備事業の予算56,400千円の内、全額を平成22年度に繰越し」	○広場整備 ・設計委託(広場整備・便所) ・広場整備工事(歩道・広場等)	○広場整備 ・広場整備工事(芝舗装・駐車場等) ・便所、休憩所設置工事
平成24年度計画	平成25年度計画	平成26年度計画	平成27年度以降計画

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H22 ~ H23)			
	単独	補助	合計
国			
県			
地方債	118,200		
辺地債			
過疎債			
合併特例債	118,200		118,200
その他			
一般財源	50,822		50,822
計	169,022		169,022

	H22年度 決算(A)	H23年度 計画(B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	141,400	82,587	▲ 58,813	42% 減
補正予算額			---	---
予算合計	141,400	82,587	▲ 58,813	42% 減
国庫補助金				
県支出金				
地方債	39,900	78,300	38,400	96% 増
その他				
一般財源	46,535	4,287	▲ 42,248	91% 減
支出合計	86,435	82,587	▲ 3,848	4% 減

単位:千円

事務事業 コード	764316	事 務 事業名	コミュニティ広場整備事業	担 当 部	建設部
				担 当 課	都市整備課

区 分	全体計画 (H 22 ~ H 23)			平成21年度までの 実施状況			平成22年度 (実績)			平成23年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	○広場整備 ・広場整備工事 ・便所、休憩所設置工事			「但し、コミュニティ広場整備事業の 予算56,400千円の内、全額を平 成22年度に繰越し」			○広場整備 ・設計委託(広場整備・便所) ・広場整備工事(歩道・広場等)			○広場整備 ・広場整備工事(芝舗装・駐車場 等) ・便所、休憩所設置工事			
1 報 酬													
2 給 料													
3 職員手当等													
4 共 済 費													
7 賃 金													
8 報 償 費													
9 旅 費													
10 交 際 費													
11 需 用 費													
消耗品費													
燃 料 費													
食 料 費													
印刷製本費													
光熱水費													
修 繕 料													
12 役 務 費													
通信運搬費													
広 告 料													
手 数 料													
保 険 料													
13 委 託 料	2,363		2,363				2,363		2,363				
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	101,989		101,989				41,989		41,989	60,000		60,000	
16 原 材 料 費													
17 公有財産購入費	64,583		64,583				42,083		42,083	22,500		22,500	
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金	87		87							87		87	
20 扶 助 費													
21 貸 付 金													
22 補償補填及び賠償金													
23 償還金・利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積 立 金													
26 寄 附 金													
27 公 課 費													
28 繰 出 金													
計	169,022		169,022				86,435		86,435	82,587		82,587	
財源内訳	国												
	県												
	地方債	118,200		118,200			39,900		39,900	78,300		78,300	
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債	118,200		118,200			39,900		39,900	78,300		78,300	
	その他												
一般財源	50,822		50,822				46,535		46,535	4,287		4,287	
計	169,022		169,022				86,435		86,435	82,587		82,587	
補助率	国	—			—			—			—		
	県	—			—			—			—		
補助基本額	—			—			—			—			

平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	141,400
補正予算	
合 計	141,400

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	764316	事務事業名	コミュニティ広場整備事業	担当部	建設部
				担当課	都市整備課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民にとって身近な街区公園を整備することにより、ゆとりと安らぎの場が確保できることとなり、上位施策(生活基盤の充実)に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民に身近で手軽な住区基幹公園の整備は採算性がない(利用料金が発生しない)ため、民間等がこのような公園を整備することはないため。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	主要施設の整備が概ね平成23年度に完成することから順調に進捗している。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	上位計画である『緑の基本計画』に基づき、地区民が身近に利用できる公園を配置計画のもと年次計画により実施するものであるため、廃止・休止した場合には、街区公園の配置の均衡が取れない。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	造成用土砂を他工事からの残土流用を行いコスト削減を図った。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	測量設計業務を外注し、職員の業務時間削減を行った。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は、公園の少ない地区を対象とする事業であり、その他の公園の少ない地域については他事業(国庫補助事業等)で公園整備を進めているため、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本年度は、コスト削減を図りながら事業実施を行った。引き続き効率の良い事業の実施を行う必要がある。 今後も市全体に無駄の無い公園整備計画により公園・緑地整備が必要である。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	現在策定中の「緑の基本計画」により、霧島市の公園整備計画を作成する。住民のニーズや誘致区域の重複等を確認し、無駄の無い効率的な公園整備を行う。 今後の緑地・公園整備においては、国庫補助事業採択に向け要件等勘案し、補助事業の導入を図っていく。

事務事業コード	764210	事務事業名	まち交街路整備事業(国分中央)	担当部	建設部
				担当課	都市整備課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	都市整備グループ
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2881
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	都市計画法 道路法 土地収用法 都市再生特別措置法
	目	3	街路事業費		
コード	764210				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
<p>市で作成した都市再生整備計画に基づき、中心市街地にある平和通線、向花清水線及び川跡線は、骨格道路として整備事業を開始している。</p> <p>都市計画道路等の早期整備により、安全な道路施設整備、中心市街地の活性化や歩行者の回遊性の向上を図るもので、歩道の設置、道路の拡幅、道路の舗装を行うものである。</p> <p>①補償物件の調査、②用地取得、③工事の施工</p>	<p>都市計画決定より長期の年数が経過しているため、早期の事業完成を地元住民から要望されている。</p> <p>特に道路が狭く、歩行者の通行や車の離合がしにくいことや都市計画法第53条の規定により建築制限が行われていることもあり地権者からは早期の着手が要望されている。</p>	<p>特になし。</p>

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 道路利用者(車両及び歩行者)	安全かつスムーズに通行できる。	安全・快適に移動ができる
イ 事業用地の地権者、建物等所有者及び借家人などの利害関係人	地権者、利害関係人の理解協力を得ながら事業用地として必要な土地を提供してもらう。	安全・快適に移動ができる

全体計画 (H19 ~ H23)	平成21年度までの実施状況	平成22年度実績	平成23年度計画
道路改良工事 699m	測量等業務委託 7件 道路改良工事 319m 用地買収 15件 1654㎡ 建物等補償 19件 ※ただし、建物等補償 2件(補償費28,547千円)、事務費(消耗品費453千円)についてはH22に繰越	道路改良工事 275m 用地買収 12件 770㎡ 建物等補償 11件 ※ただし、委託 2件(委託費 2,363千円)、工事 1件(工事費3,382千円)、用地買収 8件(用地費 6,151千円)、建物等補償 5件(補償費20,213千円)についてはH23に繰越	道路改良工事 105m
平成24年度計画	平成25年度計画	平成26年度計画	平成27年度以降計画

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H19 ~ H23)				H22年度 決算(A)	H23年度 計画(B)	前年度比較 (B)-(A)	
	単独	補助	合計				
国		225,760	225,760	199,506	58,559	▲ 140,947	71% 減
県				3,805		---	---
地方債		373,220		203,311	58,559	▲ 144,752	71% 減
辺地債				26,130	10,470	▲ 15,660	60% 減
過疎債							
合併特例債		373,220	373,220	134,400	42,100	▲ 92,300	69% 減
その他							
一般財源	39,839	23,533	63,372	9,895	5,989	▲ 3,906	39% 減
計	39,839	622,513	662,352	170,425	58,559	▲ 111,866	66% 減

単位:千円

事務事業コード	764210	事務事業名	まち交街路整備事業(国分中央)	担当部	建設部
				担当課	都市整備課

区分	全体計画 (H19 ~ H23)			平成21年度までの 実施状況			平成22年度 (実績)			平成23年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	道路改良工事 699m			測量等業務委託 7件 道路改良工事 319m 用地買収 15件 1654㎡ 建物等補償 19件 ※ただし、建物等補償 2件(補償費 28,547千円)、事務費(消耗品費 453千円)についてはH22に繰越			道路改良工事 275m 用地買収 12件 770㎡ 建物等補償 11件 ※ただし、委託 2件(委託費 2,363千円)、工事 1件(工事費 3,382千円)、用地買収 8件(用地費 6,151千円)、建物等補償 5件(補償費 20,213千円)についてはH23に繰越			道路改良工事 105m			
1 報酬													
2 給料	14,718	12,726	27,444	14,718	12,726	27,444							
3 職員手当等	14,303		14,303	14,303		14,303							
4 共済費	8,351		8,351	8,351		8,351							
7 賃金	1,023	2,085	3,108	122	2,085	2,207	901		901				
8 報償費													
9 旅費	14	51	65		51	51	14		14				
10 交際費													
11 需用費	718	3,723	4,441	4	3,270	3,274	714	453	1,167				
消耗品費	531	2,714	3,245		2,261	2,261	531	453	984				
燃料費	187	839	1,026	4	839	843	183		183				
食料費													
印刷製本費		170	170		170	170							
光熱水費													
修繕料													
12 役務費		734	734		734	734							
通信運搬費		367	367		367	367							
広告料													
手数料		367	367		367	367							
保険料													
13 委託料	139	27,246	27,385		20,884	20,884	138		138	1	6,362	6,363	
14 使用料及び賃借料	562	70	632		70	70	562		562				
15 工事請負費		161,172	161,172		98,743	98,743		36,597	36,597		25,832	25,832	
16 原材料費													
17 公有財産購入費	4	125,445	125,449	2	85,599	85,601	1	33,696	33,697	1	6,150	6,151	
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金	7	289,261	289,268	5	171,701	171,706	1	97,348	97,349	1	20,212	20,213	
23 償還金利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	39,839	622,513	662,352	37,505	395,863	433,368	2,331	168,094	170,425	3	58,556	58,559	
財源内訳	国		225,760	225,760		189,160	189,160		26,130	26,130		10,470	10,470
	県												
	地方債		373,220	373,220		196,720	196,720		134,400	134,400		42,100	42,100
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債		373,220	373,220		196,720	196,720		134,400	134,400		42,100	42,100
	その他												
一般財源	39,839	23,533	63,372	37,505	9,983	47,488	2,331	7,564	9,895	3	5,986	5,989	
計	39,839	622,513	662,352	37,505	395,863	433,368	2,331	168,094	170,425	3	58,556	58,559	
補助率	国	—		—		—		—		—		—	
	県	—		—		—		—		—		—	
補助基本額		—		—		—		168,094		—		56,956	

平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	199,506
補正予算	3,805
合計	203,311

第1回		第4回	
第2回		第5回	
第3回		第6回	

第7回			
流用			3,805

事務事業コード	764210	事務事業名	まち交街路整備事業(国分中央)	担当部	建設部
				担当課	都市整備課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路改良工事により道路利用者が、安全・快適に移動ができるようになるため結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道整備は、市の義務であり、通行車両、歩行者の安全を確保する観点からも妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	土地買収、工事とも順調である。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	事業を休止・廃止すると、安全・快適な通行ができない部分が残る。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	適切な工法を検討し、工事費を積算している。買収単価は土地鑑定を行って適切な価格での買収をお願いしている。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	適切な工法を検討し、工事発注をしている。用地交渉は地権者に平日時間内にお願ひし、地権者の都合により必要最小限で時間外交渉を行っている。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	不特定多数の人が、道路を利用するので公平公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地権者の協力を得て、土地買収、工事とも順調に事業を進められている。道路整備に伴い、平和通線の交通量も増加傾向にあるため、安全性確保の上からも継続的な事業の推進により、早期完了が必要と思われる。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	引き続き事業の継続を行い、事業(第1期計画)の最終年度であるH23年度に完成させ、道路利用者が、安全・快適に移動できるようにする。